

令和4年度【国語】授業改善推進プラン

文京区立第八中学校

	課題の分析	授業改善の視点	成果と課題
1 年 生	<p>国語に対する関心が高く、一生懸命取り組んでいる生徒が多い。そのため、基本的な漢字についての知識や作文に粘り強く取り組む姿勢などについては大きな課題はない。一方、物語文や説明文への読解について不得意だと考えている生徒が多く見られる。</p>	<p>既習事項を効果的に想起させ、学習内容と結びつけることで、物語や説明文の読解スキルを積み上げる。</p> <p>学習内容と関連のある様々な国語に関する知識に触れさせ、国語全体への興味関心をますます高める。</p>	年度末に記入
2 年 生	<p>一生懸命取り組んでいる生徒が多い。定期テストでも全体として無回答率は低いが、自己評価として様々な分野を不得意と挙げている生徒が多く見られる。また、課題に取り組みながらも完成させられないため提出しないという生徒がいる。</p>	<p>既習事項を効果的に想起させ、学習内容と結びつけることで、物語や説明文の読解スキルを積み上げる。また、作文力のベースを作るため、不得意生徒には文型を提示して書く機会を多く設定する。</p> <p>様々な課題で過程を丁寧に見取り、適切に助言しながら完成を促す。</p>	年度末に記入
3 年 生	<p>学習内容の定着に差が見られる。特に、作文や文章の読解問題に関して開きが大きい。また、課題に取り組みながらも完成させられないため提出しない、という生徒がいる。</p>	<p>既習事項を効果的に想起させ、学習内容と結びつけることで、物語や説明文の読解スキルを積み上げる。また、作文に関しては文型を提示して繰り返し書くことで力を付ける。</p> <p>様々な課題で過程を丁寧に見取り、適切に助言しながら完成を促す。</p>	年度末に記入